

2022 年度 国際理解学科「基礎ゼミナール」 ミニシラバス

担当者名	生田 祐子
基礎ゼミのテーマ	《国際理解の道具としての英語》 ✕ 私の未来 2022 年秋はウクライナに関する国際情勢について、各国や当事者の立場で考える模擬国連の形式を用い、英語による発信力を高めます。そのためには、言語の知識（単語や文法）+ WTC(=Willingness to Communicate/対話力)+ 使用頻度（機会や環境）が鍵になります。毎回のゼミでは、皆さん自身が世界とつながる英語話者として、将来の進路や未来を描ける仕掛けも用意しています。
サブテキストなど	授業で参考文献を伝え、資料を配布します。
お勧め対象	1. NY 国連研修や英語模擬国連への参加を願っている学生。 2. 国際理解教育と英語教育のコラボに関心のある学生。 3. 留学や将来の進路のために英語力向上を願っている学生。

担当者名	榎本 アンドリュー
基礎ゼミのテーマ	American Minority Studies provides a multidisciplinary analysis of the subordinate/dominant statuses of individuals and groups by recognizing the impact of race/ethnicity, gender, and socioeconomic class of individuals and groups in relationship to American society. Some topics covered are minority studies, intersectionality, African Americans, Asian Americans, LGBTQ, religious minorities, and women.
サブテキストなど	Students will be reading, watching, and listening to authentic English materials, which will be provided by the instructor. Excerpts from Racial and Ethnic Groups by Schaeffer will also be used. Students will explore various media outlets as well such as YouTube, Netflix, and TED talks.
お勧め対象	Students who are interested in American culture and taking a seminar conducted in English will greatly appreciate this class.

担当者名	金井 恵里可
基礎ゼミのテーマ	国際化する日本のなかの私 ー現在、日本社会には多くの外国籍住民が暮らしています。私たちはどのように共生社会を創っていくのか、歴史と現状と事件と政策から考えます。
サブテキストなど	教材は授業内で配布または manaba に掲載します。参考文献『故郷の味は海をこえてー「難民」として日本に生きる』
お勧め対象	外国ルーツの人に限らず、マイノリティに対する差別や排除やいじめやハラスメントがなぜ起きるのか、人権とは何なのか、マイノリティが暮らしやすい社会は創れるのか、考えてみたい学生

担当者名	渡邊 三津子
基礎ゼミのテーマ	【身近な地域を知ろう！】 皆さんは、いま暮らしている住まいや大学がある場所に、昔何があったのか知っていますか？ 例えば、江戸時代には何があったのでしょうか？ グループに分かれて地図・古地図を読み込んだり、街歩きルートを決めたりしながら身近な地域の調べ方・歩き方を実践的に学びます。 1) 大学周辺の富士塚めぐりー江戸・東京の庶民の信仰ー 2) アプリを片手に大江戸今昔めぐり 3) 首都圏外郭放水路（防災地下神殿）見学（有志）
サブテキストなど	授業中に適宜配布または manaba に掲載します
お勧め対象	社会科の教員を目指している人、自分が住んでいる身近な地域の歴史や自然に興味がある人、地域おこしに興味がある人、街歩きが好きな人にお勧めです。

2022 年度 国際理解学科「基礎ゼミナール」 ミニシラバス

担当者名	久保庭 慧
基礎ゼミのテーマ	テーマ：世の中に溢れる「ずるい言葉」を解剖しよう 世の中には「ずるい言葉」が溢れています。さらに悪いことに、そうした「ずるい言葉」は一見すると聞こえのいいものだったり、正しそうに見えたりするため、よく考えないと反論することが難しかったりします(例:「これは差別ではなく区別」)。このゼミでは、そうした世の中に溢れる「ずるい言葉」の数々を「解剖」し、どうしてそれが「ずるい」のかを論理的に考えていく作業をしていきたいと思います。
サブテキストなど	下記のテキストを使用します。 森山至貴『10代から知っておきたい あなたを閉じ込める「ずるい言葉」』(WAVE 出版、2020 年)
お勧め対象	・ 日常で使われるちょっとした表現に「もやっと」したことのある人。 ・ 「言葉の持つ力」を信じている人。 ・ 論理的に考えることが好きな人。

担当者名	孫 美幸
基礎ゼミのテーマ	【地域に広がる学びの場再発見！】 学校だけが学びの場ではありません。美術館、博物館、図書館といった生涯学習施設から、地域のアートギャラリー、カフェ、食堂など、多様な場所があります。平和・公正・共生の社会に向けて、現在どのような学びの場があるのか、私たちが今後どのように創造できるのか、グループワークを通して一緒に考えてみましょう。
サブテキストなど	授業内で適宜資料を配布し、参考文献もお知らせします。
お勧め対象	地域の美術館、博物館、図書館、カフェや食堂などのイベントに関心のある方、生涯学習や社会教育の視点から多様な人々が支え合う平和な社会づくりについて考えたい方を歓迎します。

担当者名	本浜 秀彦
基礎ゼミのテーマ	「実践的教養としての表現技法を身につける！」——2022 年度の本基礎ゼミのテーマです。「表現技法」とタイトルが付く大学の授業は、論文やレポートの書き方を学ぶことが多いのですが、本ゼミはより広く、「ことば」と「ビジュアル」な表現のスキルを高めることをねらいとしています。そのための「インプット」(小説や詩やマンガや新聞を読む・映画やテレビドラマや演劇や写真を観る、など)と、「アウトプット」(演劇的なトレーニングや表現を試みる・写真や動画(映画)を撮る・実務的文章[ビジネス文書など]や創作的文章[戯曲や詩など]を書く、など)を、授業で行います。受講生には、ほぼ毎回、映画や演劇などを観る・小説やマンガや新聞を読む、などの宿題を出します。
サブテキストなど	特に教科書はありません。教場でプリントなどを適宜配布します。
お勧め対象	「ことば」や「ビジュアル」な表現に関心があると同時に、水曜日の1限から、教室(場合によっては体育館)で身体をほぐしたり、動かしたり、またキャンパス内を動画撮影のため動き回ったりすることなどを厭わない学生にお勧めです。逆に、そうしたことは「ちょっとなあ〜」と思う学生には、本ゼミは“苦行”となるかもしれません(「ことば」や「ビジュアル」な表現に関心の薄い学生も同様に)。

2022 年度 国際理解学科「基礎ゼミナール」 ミニシラバス

担当者名	山崎 裕子
基礎ゼミのテーマ	【ものごとの本質を見抜く力をつける】 サブテキストを使用し、考える力や本質を見抜く力を培うことを目指します。ゼミ生が順番に発表、一週間のニュースの報告も交代で担当します。
サブテキストなど	外山滋比古『思考の整理学』ちくま文庫 572 円 (各自、購入してください。)
お勧め対象	1. 本を読むことと考えることが好きな人。 2. 表面だけを見るのではなく、世界に目を向けて、広い視野から、ものごとの本質を見抜きたいと思っている人。 3. 木の枝葉ではなく、幹の部分を学びたいと思っている人。